

# エネルギー政策研究の経験から

山地憲治、100531

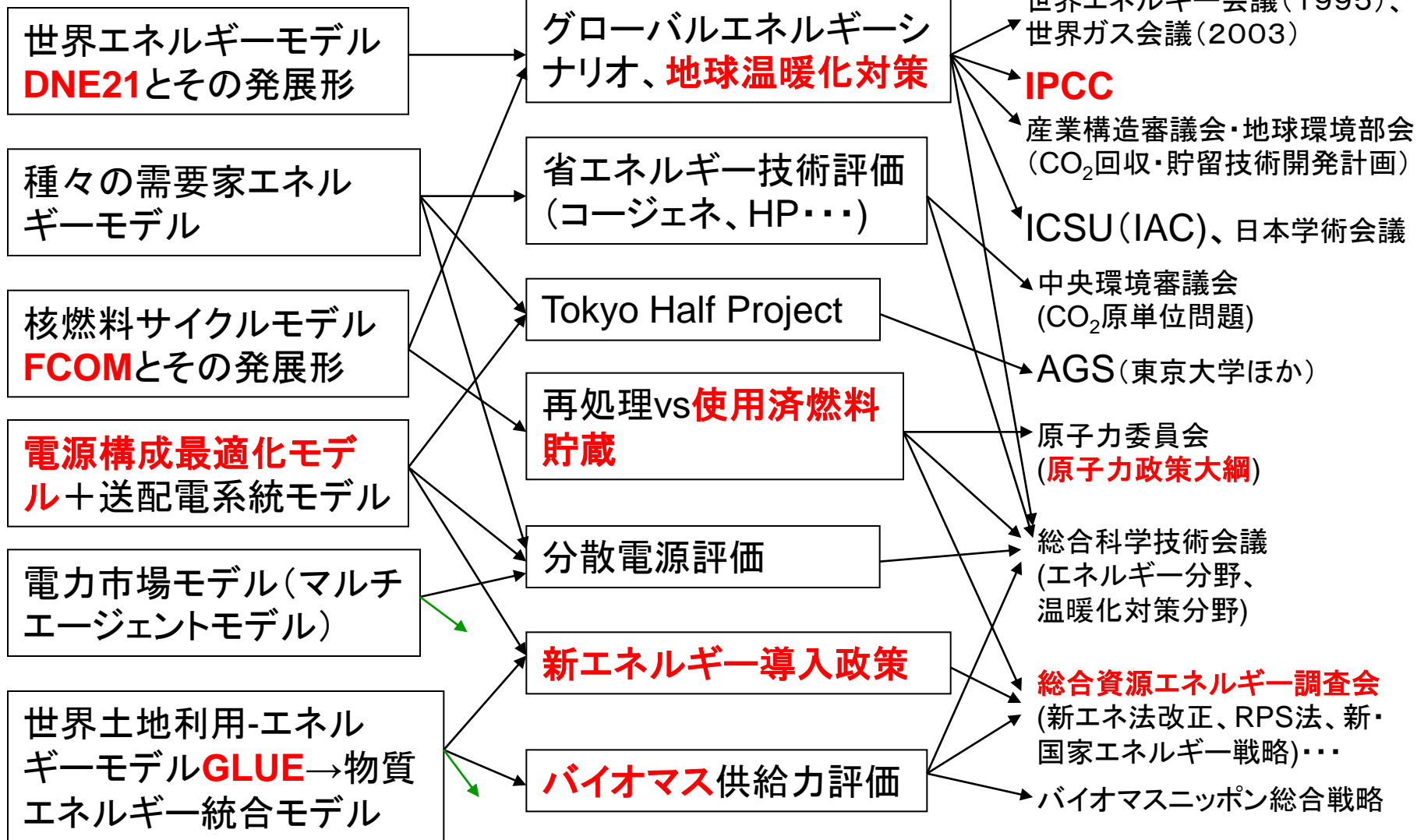
for I2TA(先進技術の社会影響評価手法の開発と社会への定着プロジェクト)  
ヒアリング

# 研究手法とテーマ

## <手法>

## <テーマ>

## <出口>

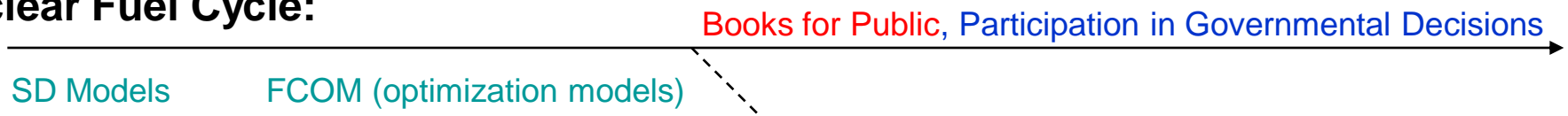


# From Study to Policy: some cases

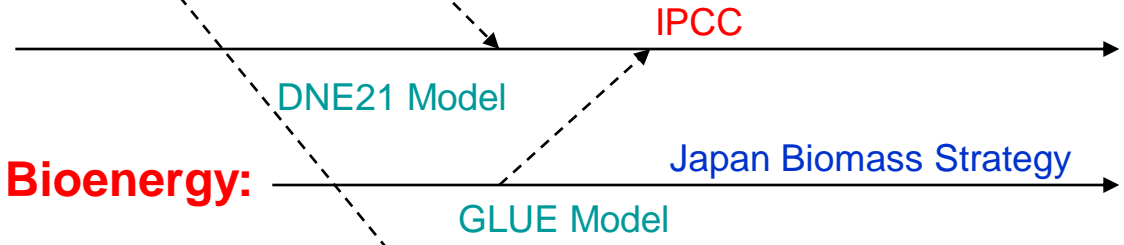
## Outline of Research History



### Nuclear Fuel Cycle:



### Climate Change:



### Bioenergy:



### Distributed Energy:



### Integration of Automobile and Power System:



# 研究から政策まで — バイオマスエネルギーのケース —

## バイオエネルギーに関する論文・著書

年	研究論文	国際会議論文	電中研報告	解説論文	著書
1994		1	1		
1995					
1996	2	2	2		
1997	2	3			
1998	3	2			
1999	3	1	1		
2000	1	4		1	1
2001	1	3	1		
2002		2		2	3
2003	1			4	
2004				1	
2005					
2006				1	1

研究の契機: 物質フローを取り込んだエネルギーモデルの拡張

↓  
GLUEモデル開発、バイオマスバランス表の考案

群馬県宮城村(現前橋市)における自然エネルギー導入検討  
(人口8000人、豚60000頭、牛10000頭) → バイオガス利用

総合資源エネルギー調査会・新エネルギー部会  
(1999-2001年)

「バイオエネルギー」出版(2000年)

新エネルギー法改正(2002年)

新エネルギー導入目標改訂  
(2001年、2005年)

地域新エネルギービジョン

バイオマスニッポン総合戦略(2002年)

## その後の展開:

バイオマスタウン構想      燃料政策小委員会(バイオ燃料)      日伯バイオエタノール委員会  
 日本エネルギー学会バイオマス部会      バイオマスアジアフォーラム      JSTバイオマス基盤技術  
 総合科学技術会議(バイオマス連携施策)      NEDOグラント(バイオエタノール)、etc.